

食品産業
もったいない大賞
審査委員会
委員長賞

★応募名称

～夕食で「もったいない」を言わせない～
受注生産方式でレシピ付きミールキットをお届け

★会社名・事業場名

ヨシケイ開発株式会社（静岡県静岡市）

URL：https://yoshikei-dvlp.co.jp/

【目的】

当社は、1975年の創業以来、食材宅配のパイオニアとして64社のフランチャイズを通じ、全国約50万世帯に管理栄養士監修のレシピと共にミールキットや冷凍弁当などの宅配サービスを自社便で提供している。そもそもの事業活動がもったいないを削減する取組みに繋がっている。かつ、事業活動の幅を時代のニーズに合わせ広げている。

【具体的な内容】

- ① **1975年の創業以来、継続するミールキットのお届け**：その日の夕食に必要な食材を必要な人数分お届けするレシピ付きミールキットを受注生産方式にて販売している。ミールキットという商品自体が家庭で使い切れずに廃棄される食材を削減できる仕組みとなっており、1975年の創業以来、継続している。お届けはダンボールに入れず、繰り返し利用できるクールボックスを使用し、食材だけでなく資材の廃棄も抑えている。2013年より、個人宅だけでなく施設にもミールキットをお届けする「ヨシケイキッチン！」の事業を開始。高齢者施設・障がい者施設等において施設利用者の健康を支える「食事」の準備は、栄養・価格を見ながらの献立作成、食材の仕入れ、運搬、調理など多くの時間を要し、施設側の負担であるが、それら調理の労力の軽減に繋がり、人材不足をカバーしている。
- ② **鍵付きの「あんしん BOX」で再配達ゼロ**：手渡しを基本とするも、留守しがち等の理由により希望するお宅向けに、鍵付き宅配ボックス「あんしん BOX」の貸出しを1985年より開始。「あんしん BOX で再配達ゼロ!!」を目指し、全国約4,700台の再配達ゼロを達成している。



【効果】

ミールキットは、家庭で使い切れず廃棄してしまう食材削減につながっている。また施設向けにもミールキットを展開し、施設の食事を支えつつ、施設の労力軽減に寄与する活動を広げている。また、1985年より取り組む「あんしん BOX」の運用により、再配達がゼロとなり、全国約4,700台の配達車によるCO2削減に貢献している。

◆今後の展開◆

ミールキット市場規模は2025年には1,800億円まで拡大と予想される。全国約50万世帯のお客様に利用され、施設向けにお届けする事業は、6,000件を突破。当社ミールキット企業シェア率50%であり、今後も需要に応え続けていく。

◆評価◆

ミールキットの先駆けである当社は、そもそもお客様の利便性向上に役立つ取組みとして継続してきたことがもったいないを削減する取組みにも繋がっている。施設の食の支援にも取組み、取組みの歴史と活動の拡大を評価する。

食品産業
もったいない大賞
審査委員会
委員長賞

★応募名称

「廃白土」と「脱脂米ぬか」を活用したキノコ培地の開発により、
食料自給率向上と産業廃棄物削減を実現

★会社名・事業場名

築野食品工業株式会社（和歌山県伊都郡かつらぎ町）

URL：https://www.agries-nagano.jp/wp/wp-content/uploads/2019/04/2018-2-g13.pdf

【目的】

当社は、和歌山県の地に昭和 22 年に創業。米ぬか高度有効利用の企画、研究開発と、こめ油の製造、販売、研究開発を行う。戦後、「食糧の安定供給が図れる事業で社会に貢献したい」との想いで昭和 22 年 2 月農林省指定の精麦工場を創立するも、麦の消費減退に伴い、米ぬかを原料とする製油業に進出。米中心として事業を拡大させ、付加価値商品の物づくりに取り組んでいる。米ぬかを 100%使いこなすことを目標にすべての工程で発生する副産物を有効に活用すべく副産物を用いた製品開発に力を入れている。

【具体的な内容】

- ① **こめ油の製造工程で生じる「廃白土」の有効活用**：植物油の製造工程（脱色工程）で使用する副資材の白土は、使用後に廃白土として産業廃棄物となり、かつて当社では月間約 150 トンの廃白土を廃棄していた。この廃白土と、米ぬかから油分を取り出した後の脱脂ぬかを使って、「築野 MIX」というキノコの培地（菌床培地）を開発。一般的にはキノコの培地には米ぬかが使用されるが、その米ぬかは日本で唯一自給可能な植物油（こめ油）の貴重な原料である。そのため、米ぬかをそのままキノコ培地に利用するのではなく、米ぬかを食用油（こめ油）の原料として利用した後、副産物から「築野 MIX」を作り、キノコの培地として活用している。2019 年にキノコの培地として築野 MIX の販売を開始し、2023 年には 1185 トンの製品を出荷した。



- ② **長野県野菜花き試験場との共同研究**：築野 MIX については、長野県野菜花き試験場と共同研究で、元来用いていた米ぬかでの栽培との比較を行い、収量・品質ともに同程度の安定性であることを実証した。

【効果】

キノコ培地に使用する米ぬかを脱脂ぬかに置き換えたことを想定すると、約 88 トンのこめ油増産に繋がっている。また、産業廃棄物として廃棄する廃白土の量については、築野 MIX 販売前の 2018 年は約 1600 トン/年であったが、2023 年には 0 トンとなった。廃白土を焼却した場合で換算すると、CO2 発生量約 1,440t/年の削減に繋がるといえる。

◆今後の展開◆

現在、1 社のきのこ培地メーカーで取扱いが始まっているが、今後新たな培地メーカーにも広がっていきける可能性がある。また、廃白土は、他の植物油の製造工程でも発生するため、それらの製造工場での産業廃棄物削減に繋がる可能性がある。

◆評価◆

当社の長年の研究開発の経験と知恵を強みに、廃棄されていた廃白土を有効活用できる道を築いた。日本で唯一自給可能な油脂資源を食用油として最大限活用しつつ、CO2 削減に繋がっている。今後の同業者間での展開にも期待したい。

資料 過去の受賞者

第1回食品産業もったいない大賞	受賞者（平成26年3月）	14
第2回食品産業もったいない大賞	受賞者（平成27年3月）	14
第3回食品産業もったいない大賞	受賞者（平成28年1月）	15
第4回食品産業もったいない大賞	受賞者（平成29年3月）	15
第5回食品産業もったいない大賞	受賞者（平成30年1月）	16
第6回食品産業もったいない大賞	受賞者（平成31年1月）	16
第7回食品産業もったいない大賞	受賞者（令和2年2月）	17
第8回食品産業もったいない大賞	受賞者（令和3年1月）	17
第9回食品産業もったいない大賞	受賞者（令和3年1月）	18
第10回食品産業もったいない大賞	受賞者（令和4年1月）	18
第11回食品産業もったいない大賞	受賞者（令和5年2月）	19

第1回食品産業もったいない大賞 受賞者（平成26年3月）

農林水産大臣賞

- 山梨罐詰株式会社（静岡県静岡市） 缶詰工場のシロップ廃液を利用したメタン発酵システムの確立

農林水産省食料産業局長賞

- 生活協同組合コープさっぽろ（北海道札幌市） 循環型社会を目指した取組 ～バイオガスプラント～
- セカンドハーベスト・ジャパン（東京都台東区） もったいない食べものを、ありがとうへと変える、フードバンク活動
- ケンコーマヨネーズ株式会社（東京都杉並区） ポテト皮の液状飼料化で高度なゼロエミッションを実現
- 朝日酒造株式会社（新潟県長岡市） 燃料・資材・設備にかかるエネルギーがもったいない！ 清酒製造工場の環境活動
- 株式会社みすずコーポレーション（長野県長野市） 製造工程端材品の商品化

食品産業もったいない大賞審査委員会委員長賞

- いわて生活協同組合（岩手県滝沢市） 地産地消・産直の推進と創電でエネルギー削減！
- 株式会社大都技研（栃木県栃木市） 食品加工場への油水分離技術導入による資源回収と排水処理システムの改善
- パルシステム生活協同組合連合会（東京都新宿区） パルシステム100万人の食づくり・もったいないプロジェクト
- 湘南AO株式会社（神奈川県鎌倉市） 青みかんの活用 ～湘南みかんを守ろう～
- 特定非営利活動法人フードバンク山梨（山梨県アルプス市） 多くのステークホルダーとの連携で実現した食品ロス有効活用・食のセーフティネット事業
- 日豊食品工業株式会社 城南工場（熊本県熊本市） みんなの知恵と工夫で水とエネルギーの有効活用

第2回食品産業もったいない大賞 受賞者（平成27年3月）

農林水産大臣賞

- スターバックスコーヒージャパン株式会社（東京都品川区）、株式会社メコン（愛知県名古屋）（連名） コーヒー豆かすリサイクル（牛の飼料化）の取組

農林水産省食料産業局長賞

- 株式会社伊藤園（東京都渋谷区）/東洋製罐株式会社（東京都品川区）（連名） 持続可能な消費を実現した新飲料充填システム
- 株式会社日本フードエコロジーセンター（神奈川県相模原市） 多様な食品廃棄物のエコフィード化とリサイクルループの構築
- みやぎ生活協同組合（宮城県仙台市） エコフィード化（液飼料）によるCO₂ 削減
- 山崎製パン株式会社（東京都千代田区） 各工場における地域農産物を利用した製品開発の取組
- 株式会社ローソン（東京都品川区） 自然冷媒（CO₂ 冷媒）活用等による地球温暖化防止の推進

食品産業もったいない大賞審査委員会委員長賞

- 伊万里市農業協同組合小葱部会（佐賀県伊万里市） 伊万里のもったいない（未利用農産物）をゼロに ～伊万里グリーンカレー物語～
- うどんまると循環コンソーシアム（香川県高松市） 廃棄うどんをバイオガス発電し、肥料から小麦を作り、うどんを再生するプロジェクト
- 加藤産業株式会社（兵庫県西宮市） お得意先様との連携による配送車両台数の削減等、積極的な環境活動を実施
- 株式会社こむらさき（宮城県仙台市） ラーメン店厨房内で行う節水・省エネと排水量及び汚濁負荷の削減
- 株式会社ユーグレナ（東京都文京区） 炭素循環型社会を目指した食品生産利用技術

第3回食品産業もったいない大賞 受賞者（平成28年1月）

農林水産大臣賞

- 三井化学東セロ株式会社（東京都千代田区） 鮮度保持フィルムの製造販売による食品ロスの削減

農林水産省食料産業局長賞

- 味の素ゼネラルフーズ株式会社（東京都新宿区）

スティックミックス商品のコンパクト化による容器包装の軽薄短小化と輸送効率向上及び「ほっとするエコ」マーク表示による消費者への伝達

- 甲陽ケミカル株式会社（鳥取県境港市） 地元水産加工残渣だったカニ殻を利用した健康食品素材等の開発

- 株式会社長野地方卸売市場、長野卸売市場協同組合（長野県長野市）（連名）

食品を大切に：市場一体となって生ごみの減量化等をはじめとした「環境型社会」に挑戦 ～日本一美しい市場を目指す～

- 富士電機株式会社（東京都品川区） 高機能保冷コンテナを活用した物流効率化による消費エネルギー削減及び包装材使用量削減

- 松本市役所（長野県松本市） 「残さず食べよう！ 30・10運動」をはじめとする食品ロス削減の取組

食品産業もったいない大賞審査委員会委員長賞

- 油藤商事株式会社（滋賀県犬上郡豊郷町） 地産地消エネルギー・廃食用油をまちのエネルギーに

- 有限会社エコ・ネット（青森県弘前市）

〇〇〇が生ハムになっちゃった ～エコフィード製造から精肉等の販売まで 食品リサイクルループの構築と地元雇用の創出～

- 大分県立大分東高等学校（大分県大分市） リボベジって知っていますか？ ～再生栽培の野菜を利用することによる生ごみ減量化～

- 太田油脂株式会社（愛知県岡崎市） 資源循環型事業における使用済み食用油のバイオディーゼル燃料（BDF）への活用

- 合同会社西友（東京都北区） 西友のインフラを活用した規格外野菜の定期的寄付

- 大日本印刷株式会社（東京都新宿区）、フジッコ株式会社（兵庫県神戸市）（連名）

地球温暖化防止に貢献できる画期的な食品製造システムで作る「美味しいレディミール」

第4回食品産業もったいない大賞 受賞者（平成29年3月）

農林水産大臣賞

- 松本大学、長野県中野地区6次産業推進協議会（長野県松本市）（連名） そば粉とわさびのゼロミッションプロジェクトによる安曇野6次産業の推進

農林水産省食料産業局長賞

- 熊本県立熊本農業高等学校（熊本県熊本市） 高校生による「規格外海苔からブランド卵・海苔ノリたまごの開発」

- コカ・コーライーストジャパン株式会社（東京都港区）、一般財団法人蔵王酪農センター（宮城県刈田郡蔵王町）、宮城県蔵王町（宮城県刈田郡蔵王町）（連名） 茶殻と乳清を地域資源に ～地元産エコフィードで育てた牛による蔵王町振興の取組～

- 食品ロス削減連合会（東京都豊島区）（相模屋食料株式会社、株式会社伊藤園、国分グループ本社株式会社、株式会社タイヨー、ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社、一般財団法人日本気象協会） 需要予測の精度向上・共有化による作りすぎ廃棄ロスの削減と省エネ

- 日本マクドナルド株式会社（東京都新宿区） オーダーメイド方式によるファストフードの食品ロス削減

- 福井県 「おいしいふくい食べきり運動」と「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」による食品ロス削減の取組

食品産業もったいない大賞審査委員会委員長賞

- 味の素ゼネラルフーズ株式会社（東京都渋谷区） ペットボトル商品への再生PET樹脂100%導入による、「完全循環型サイクル」の実現

- 味の素冷凍食品株式会社 九州工場（佐賀県佐賀市） 低温水熱源ヒートポンプ利用など、各種取組による熱エネルギーの有効活用

- 株式会社伊藤園（東京都渋谷区） 遊休農地と地域人材を活かして新たな茶産地を創生

- 国分グループ本社株式会社（東京都中央区） 輸配送時のもったいない待ち時間削減のための「入荷受付システム」の導入

- 生活協同組合連合会コープ東北サンネット事業連合（宮城県富谷市）

生協の物流を使って東北6県に広がる、被災地だからこそ出来る災害用備蓄品の有効活用

- ヤマキ株式会社（愛媛県伊予市） 「鰹節だし抽出殻」の調味料化による資源リサイクル技術の確立

第5回食品産業もったいない大賞 受賞者（平成30年1月）

農林水産大臣賞

- ユニー株式会社（愛知県稲沢市） 食品リサイクルループは命をつなぐ環

農林水産省食料産業局長賞

- 北海道美幌高等学校（北海道網走郡美幌町） 規格外野菜を用いた循環型養豚経営の構築
- 三菱食品株式会社（東京都大田区） 製・配・販運によるサプライチェーン全体の効率化活動
- ミナミ産業株式会社（三重県四日市市） おから無排出化による資源の有効活用

食品産業もったいない大賞審査委員会委員長賞

- 伊賀の里モクモク手づくりファーム（三重県伊賀市） 6次産業を活かした食農体験施設を軸とした『できるかぎりやさしさ宣言』
- 井村屋グループ株式会社（三重県津市） エコロジカルはエコノミカル！～木質バイオマスボイラー導入などCO₂削減活動を含む環境マネジメント～
- 日進乳業株式会社アルプス工場（長野県駒ヶ根市） 中小企業における電力使用量削減などの省エネルギーの取組
- 日本マクドナルド株式会社（東京都新宿区） PDCAシステム活用による省エネルギーシステム
- 株式会社マツザワ（長野県下伊那郡高森町） 地元関係者との連携による「摘果りんご」の活用
- 森永乳業株式会社（東京都港区） 長期保存可能な豆腐の開発及びおからの飼料化

第6回食品産業もったいない大賞 受賞者（平成31年1月）

農林水産大臣賞

- 特定非営利活動法人伊万里はちがめプラン（佐賀県伊万里市） 「生ゴミを宝に！」食資源循環による地球温暖化防止の推進を目指して

農林水産省食料産業局長賞

- 株式会社グリーンメッセージ（神奈川県大和市）/ キューピー株式会社（東京都渋谷区） 野菜未利用部サイレージによる三方よしの取組
- 株式会社ハローズ（広島県福山市） フードバンク提供促進の先進的な取組
- 株式会社平井料理システム（香川県高松市） 「地産循環型再利用」による食品残さ対策

食品産業もったいない大賞審査委員会審査委員長賞

- 株式会社セブン&アイ・ホールディングス（東京都千代田区） サステナビリティ経営～社会課題の解決と企業価値向上を両立させるために～
- 住友バークライト株式会社（東京都品川区） 青果物包装のトータルコーディネート・トータルソリューションによる食品ロスの削減
- 株式会社ハチバン（石川県金沢市） ハチバングループの食品リサイクルの取組み
- 大阪府立農芸高等学校（大阪府堺市） とびだせ！農芸エコフィード ～未利用資源を活かした畜産物の流通～
- 株式会社DINS堺バイオエタノール事業所（大阪府堺市） 廃棄飲料からバイオエタノール燃料を製造し循環型社会形成に貢献
- 鹿児島県立鶴翔（かくしゅう）高等学校（鹿児島県阿久根市） 食品廃棄物「ウニ」の有効活用でゼロエミッション ～SDGs持続可能な発展に向けて～

第7回食品産業もったいない大賞 受賞者（令和2年2月）

農林水産大臣賞

- 石川県立翠星高等学校（石川県白山市） 農業の未来を変える「廃棄果皮 0（ゼロ）システム」の構築と普及

農林水産省食料産業局長賞

- ウム・ヴェルト株式会社（埼玉県加須市）/ 農業法人アグリファーム株式会社（埼玉県加須市）/ フロイデ株式会社（埼玉県加須市）
食品リサイクルをコア事業とした地方創生計画実行中
- コーペデリ生活協同組合連合会（埼玉県さいたま市）「みらいにつなぐもったいない」フードチェーン全体でもったいないアクション！
- キューピー株式会社（東京都渋谷区）/ キューピータマゴ株式会社（東京都調布市）
未利用資源としての卵殻および卵殻膜の価値探求と食と健康への貢献

食品産業もったいない大賞審査委員会審査委員長賞

- 株式会社ダイエー（東京都江東区）～お客さまとともに～食品ロス削減に向けたフードドライブ活動
- 株式会社クラダシ（東京都品川区）
SDGsの重要課題食品ロス削減に向けて～日本初・最大級の社会貢献型ショッピングサイト「KURADASHI.jp」がサステイナブルな社会を創る～
- 株式会社紀州ほそ川（和歌山県日高郡みなべ町） 畜産物のブランド化をもたらした未利用資源「梅酢」の活用
- 株式会社ケンジャミン・フランクリン（岡山県加賀郡吉備中央町） 中山間地域と市街地を移動販売車が結ぶフードバンク活動
- 熊本県立熊本農業高等学校（熊本県熊本市） 食品廃棄物の利用価値を発信する活動配合と発酵の工夫でエコフィード作成に成功

第8回食品産業もったいない大賞 受賞者（令和3年1月）

農林水産大臣賞

- 生活協同組合コープこうべ（兵庫県神戸市） 組合員・地域とすすめる食品ロス半減

農林水産省食料産業局長賞

- 公益財団法人 Save Earth Foundation（東京都大田区）
全国初！外食事業者 5 社連携による飼料化の共同食品リサイクルループ構築～食のサーキュラーエコノミーを目指して～
- ミチナル株式会社（岐阜県高山市） 農家さんのもったいないの気持ちを繋いで廃棄はうれん草を地域の宝へ
- 三重県立相可高等学校生産経済科（三重県多気郡多気町）
バイオマス産業のまちづくりを目指して～消化液の農業利活用の取り組み～

食品産業もったいない大賞審査委員会審査委員長賞

- 日清食品ホールディングス株式会社（東京都新宿区）
「カップヌードル」への環境配慮型容器「バイオマス ECO カップ」の採用、並びに「ごみ発電電力」の使用による、気候変動対策および資源有効活用の推進
- 株式会社 艶金（岐阜県大垣市） 食品残渣の色素利用の染色布（「のこり染」）使用の生活雑貨商品
- 株式会社ビューティフルスマイル（大阪府大阪市）
食品メーカーで発生する「もったいない」食品に光をあて、消費者に直接つなぐことで食べきりを目指すプラットフォーム「ロスゼロ」
- 大阪いずみ市民生活協同組合（大阪府堺市）「もったいない」をなくしたい！！
- 長崎県立諫早農業高等学校（長崎県諫早市） 規格外温州みかんが生み出す新たな地域興しと廃棄物の再利用

第9回食品産業もったいない大賞 受賞者（令和4年1月）

農林水産大臣賞

■ 特定非営利活動法人 eワーク愛媛（愛媛県新居浜市）

愛媛県内地域循環型食品ロス削減ネットワーク活動

農林水産省大臣官房長賞

■ 株式会社ニッポン 中央研究所 イノベーションセンター（神奈川県厚木市）

粕を活かして健康および健康寿命延伸を！～さまざまな食品工場副産物から創り出す機能性食品素材～

■ 三重県立明野高等学校生産科学科畜産専攻（三重県伊勢市）

SDGs 持続可能な養豚への挑戦～伊勢あかりのぼーくで地域を明るく～

■ 株式会社リヴァックス（兵庫県西宮市）

飲料製品・食品廃棄物のリサイクル事業

食品産業もったいない大賞審査委員会審査委員長賞

■ 合同会社ファンタイム（東京都港区）

行き場を失った廃棄予定食品の再流通を通じた食品ロス削減と消費者啓蒙

■ 株式会社中村商事 Re-wine 事業部（山梨県都留市）

RE-WINE PROJECT

第10回食品産業もったいない大賞 受賞者（令和5年1月）

農林水産大臣賞

■ 株式会社日本アクセス（東京都品川区）

製・配・販をつなげて取り組む食品ロス削減

農林水産省大臣官房長賞

■ 株式会社アレフ（北海道札幌市）

ハンバーグレストラン『びっくりドンキー』の『食』からつながる SDGs

■ オイシックス・ラ・大地株式会社（東京都品川区）

産地や食品製造現場で生じるもったいない原料を新たな食品にアップサイクル。おいしく食べるだけで食品ロス削減に繋がる食ブランド『Upcycle by Oisix』でフードロスを累計約 64 トン削減！

■ 熊本県立熊本農業高等学校 養豚プロジェクト（熊本県熊本市）

養豚業によるゼロエミッションへの挑戦

食品産業もったいない大賞審査委員会審査委員長賞

■ ZERO 株式会社（東京都台東区）

あらゆる食品の『もったいない』を IT の力でゼロに

■ 三本珈琲株式会社（神奈川県横浜市）

広げよう！幸せの輪 全員参加型食品ロス削減推進モデル

第11回食品産業もったいない大賞 受賞者（令和6年2月）

農林水産大臣賞

■ 長崎県立諫早農業高等学校 生物工学部（長崎県諫早市）

フードロスニュートラル活動で食品ロスから次の食品へ！～離島との連携で行う食品残渣堆肥づくり～

農林水産省大臣官房長賞

■ キューピー株式会社（東京都渋谷区）

資源の有効活用、もったいないを価値あるものへ 食品残さ廃棄マヨネーズの有効活用

■ 特定非営利活動法人グッドネーバーズ・ジャパン（東京都大田区）

「グッドごはん」ひとり親家庭を対象としたフードバンク事業

■ 株式会社 Mizkan Holdings（愛知県半田市）

ミツカンと京都市で協定を結び、家庭の食品ロス削減を提案

野菜を無駄なくおいしく食べつくす！『もったい菜漬け・もったい鍋・まるごとベーカリー』

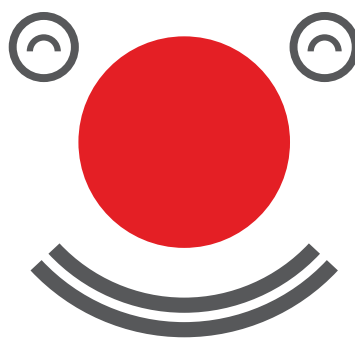
食品産業もったいない大賞審査委員会審査委員長賞

■ 佐賀県立伊万里実業高等学校 フードプロジェクト部（佐賀県伊万里市）

ストップ食品ロス！～地域で創る伊万里サステナブルシティ計画～

■ 株式会社ファミリーマート（東京都港区）

ファミマフードドライブ



NO-FOODLOSS PROJECT

令和6年度食品ロス削減総合対策事業

食品ロス削減等課題解決事業

優良者表彰の開催事業

公益財団法人食品等流通合理化促進機構

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 3-4-5 第1東ビル 6階

TEL : 03-5809-2176 FAX : 03-5809-2183